

山口県東部地区初・「陸上競技用写真判定装置」及び「全身反応測定器」を導入しました

私立大学研究ブランディング事業「健幸(ウェルネス)都市しゅうなん」構築の一環として、山口県東部地域・県内大学で初となる「陸上競技用写真判定装置」を導入しました。また、その他に「全身反応測定器」を新規導入しました。

5月9日、徳山大学総合グラウンドにて、報道機関の方などを対象としたお披露目を行いました。

今後は、本装置を活用し、市民の方々を対象とした「陸上記録会」などの開催を予定しています。



■陸上競技用写真判定装置とは

スリットカメラでゴール上の幅約1cm×縦約15mの細長い写真を1秒間に1000枚撮影し、それらをパソコン上で合成することで記録や着順を判定できます。本装置を活用したタイムは、日本陸上競技連盟の公認記録としてめられます。

